

PRESS RELEASE

2010.8

@KCUA

KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY
京都市立芸術大学 ギャラリー・アクア [堀川御池ギャラリー内]

お問い合わせ：京都市立芸術大学企画広報課 075-334-2204 infokcua@gmail.com

<http://www.kcua.ac.jp/gallery/>

京都市立芸術大学大学院彫刻専攻学生による展覧会 NOTE - 彫刻から考えること -

展覧会概要

展覧会名称	NOTE - 彫刻から考えること -
会期	2010年11月13日(土)～12月5日(日)
開館時間	11:00～19:00 最終入場 18:45 まで
休館日	月曜日
主催	京都市立芸術大学
会場	京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA1,2 (堀川御池ギャラリー内)
観覧料	無料
お問い合わせ	大学企画広報課 075-334-2204

本学大学院彫刻専攻による展覧会「NOTE —彫刻から考えること—」を開催します。
御誌にてご紹介くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

出品者の言葉：

わたしたちは「制作」をしています。わたしたちにとって「制作」とは、表現についての思考から実際の作業、時として日々の生活までも含む一連のサイクルのようなものです。

彫刻科の研究室で日々交流しながら、わたしたちは各自の制作を進めています。他者が集まり制作し語り合うこの空間は、それぞれの「つくること」を共有し高めあい、みとめあうことのできる大切な場所となっています。

日常的でありながらも刺激し合える空間での「つくること」を、丸ごと「みせること」が、作品の新たな可能性を開拓していくためには有効なのではないだろうか——そう考えたわたしたちは、今回、作品の様々な可能性を探るために、「つくること」と「みせること」の両面を併せ持つ展覧会のかたちを考えました。

本展覧会では、1階を個々の作品をみせる展示の場とし、2階はメンバーが常駐して来場者との対話を行うラボスペースとします。そして会期中は公開制作や出品者自身によるギャラリーツアー、制作過程上で生まれた資料や副産物の展示などを行います。ギャラリースペースの中にコミュニケーションを誘発し、制作者の内面を垣間見せるような場を設けることで、作品に対する多角的な見方を可能にし、作品だけでは伝えきれない制作の様々な表情を表すことのできる展覧会を目指します。

(出品者一同)

(“NOTE”は、2006年より始まった京都市立芸術大学大学院彫刻専攻の学生による自主企画展で、今年で5回目を迎えます。)



color ball
2009
ラムダプリント
50.8 × 61.0cm

門田 訓和 KADOTA Kunikazu

1985 岐阜県生まれ
2009 武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業
現在、京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻在学中

形を紡ぎだすこと、表面を紡ぎだすこと、または既にあるものを導き出すこと、それらは結果として、身体を作用させ、時間を生みだすことになる。僕の作品にあるのは、そんな結果として見えてくる世界であり、僕の視点から世界を見ようとした結果でもある。そして結果は、そこにしか流れていなかった時間を留める。きっとそこには身体とそこにあるものだけが知っている、物理的な時間が流れているはずである。

世界は経験を越えた先にある。

僕は物理的な時間を用いることで、経験を一つ一つ更新し、世界を認識していきたいと思う。

(門田)



河村 啓生 KAWAMURA Norio

1987 岐阜県生まれ
2010 大阪芸術大学芸術学部芸術計画学科卒業

2010 大阪芸術大学芸術学部芸術計画学科卒業制作展／大阪府立現代美術センター
ワンダーシード 2010／トーキョーワンダーサイト渋谷（渋谷）
現在、京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻在学中

生きていくために死を考える。

死とは何か。死の向こうに何かあるのか。死の後に何が残るのか。

そもそもなぜ死というものが存在しているのか。わからない。

だが、死を経なければ再生はありえない。そう考えるとき、死は再生への契機である。

人の心身や社会、自然界における様々な現象に目を向けながら、「死と再生」の諸相を探り表現していきたい。(河村)

BONSAI
2010
グレー、有刺鉄線、
ガラス容器
52 × 62 × 41cm



麒麟
2009
楠、榎、鉄、樹脂
120 × 300 ×
200cm

松本 誠史 MATSUMOTO Seiji

1986 大阪府生まれ
2010 京都市立芸術大学美術学部美術科彫刻専攻卒業

2007 京都市立芸術大学作品展／京都市美術館
2008 京都市立芸術大学作品展／京都市美術館
彫刻 3 回生展／京都市立芸術大学学生会館
2009 二人展『ラクジゴク』／京都市立芸術大学小ギャラリー
2009 京都市立芸術大学作品展／京都市美術館
第 60 回茨木市美術展／茨木市役所南館
2010 京都市立芸術大学作品展／京都市美術館
現在、京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻在学中

目に見えないが、確かにそこにいる。

小さいころから私の周りの環境から感じる目に見えない存在を意識せずとも認識し、それらを当たり前のように受け入れて暮らしてきました。

大人になってもその存在を信じる気持ちは変わらないのです。

私はそうした自然の存在を自分と対等の存在と捉え、そこから感じるインスピレーションを信じ、自然から訴えかけてくる空気や存在を私なりに納得する形で表現できたらと思いながら制作しています。(松本)



晴天時パン焼ガラス割機
2009
ミクストメディア
189 × 191 × 27cm

森田 るい MORITA Rui

1987 熊本市生まれ
2010 金沢美術工芸大学美術工芸学部美術科彫刻専攻卒業

2007 金沢現代彫刻展／金沢市庁舎エントランスホールおよび市庁舎前広場、
犀川緑地、金沢もてなしドーム地下広場、石川県中央公園

2009『消失まで』／匠雲堂（富山）
個展『変容、物質、私たち』／ガレリア・ポンテ（石川）

『イセ文化基金が支援する若手作家展』／
TAMADA PROJECTS TEMPORARY CONTEMPORARY（東京）

金沢現代彫刻展／金沢市庁舎エントランスホールおよび市庁舎前広場、
犀川緑地、金沢もてなしドーム地下広場、石川県中央公園
paper dish／chopstick（愛知）

現在、京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻在学中

互いに干渉しあい流動する物質世界を、美術に投げこむ。
（森田）



かみのまにまに
2010
紙
350 × 700 × 450cm

中村 潤 NAKAMURA Megu

1985 京都府生まれ
2009 京都市立芸術大学美術学部彫刻専攻卒業

2007 京都市立芸術大学作品展／京都市美術館
第1回四条ストリートギャラリー／四条通り商店街 京都

2008 京都市立芸術大学作品展／京都市美術館
個展『ヒンメリの散歩』／京都市立芸術大学小ギャラリー
第2回四条ストリートギャラリー／四条通り商店街 京都
芸術系大学作品展～ART UNIV.2008～／元立誠小学校 京都

2009 京都市立芸術大学作品展／京都市美術館
中村 潤・對木 裕里 二人展『July』／京都市立芸術大学小ギャラリー
NOTE／室町アートコート 京都
第3回四条ストリートギャラリー／四条通り商店街 京都

2010 京都市立芸術大学作品展／京都市美術館
現在、京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻在学中

受賞歴

2009 奨励賞／京都市立芸術大学作品展
2010 奨励賞／京都市立芸術大学作品展

わたしが 手をうごかすことで
わたしが ものを置くことで
おだやかな気分を誘ったり
思わずにやりとさせたりすることが
できればと考えています。
この経験がみる人の日常の中で
じわじわと思い出されればと思います。（中村）



谷本 真理 TANIMOTO Mari

1986 兵庫県生まれ
2010 京都市立芸術大学美術学部美術科彫刻専攻卒業
現在、京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻在学中

ある感覚の存在を感じながら制作を行っています。
その感覚を解放できるような行為や記録をくり返しながら
自分の行動を見返すことで、さらなる展開を進めていきます。（谷本）

「投げる部屋」の実験

2010
透明テープ、雑貨、日用品、
拾ったもの
サイズ可変



music room
2009
ミクストメディア
189 × 191 × 27cm

杉山 美里 SUGIYAMA Misato

1986 大阪府生まれ
2004 大阪市立工芸高校美術科彫刻専攻卒業
2008 京都市立芸術大学美術学部美術科彫刻専攻卒業

2006 京都市立芸術大学作品展 / 京都市美術館
2007 京都市立芸術大学作品展 / 京都市美術館
ふたり展 / 京都市立芸術大学小ギャラリー
2008 京都市立芸術大学作品展 / 京都市美術館
個展『one she』 / 京都市立芸術大学ホワイエ
JAPAN ART NEXT 2008 / 海岸ギャラリー CASO (大阪)
個展『MISATO SUGIYAMA EXHIBITION』 /
ギャラリー&サロン abiesfirma
第二回四条ストリートギャラリー / 四条通商店街 (京都)
2009 京都市立芸術大学作品展 / 京都市美術館
NOTE / 室町アートコート (京都)
2010 地力。Ⅲ～ART イマジネーション in KOBE 北野・2010～ / Rose Garden (神戸)
現在、京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻在学中

私のつくり出すものは、いわゆるコンセプチュアルアートと呼べるものではない。作品の深部に同時代的な問題提起や重大なメッセージはないし、はたまた驚きや発見、新たな発明もそこにはない。そこにあるのはただのお話。または物語的な要素を帯びたもの。文学における詩のような、映画におけるモンタージュのような、音楽におけるクラシックのような位置で、エピソードをものに紡いで作品を制作している。
単純に人の心を揺らすこと、快い感情の摩擦を発生させること。
音楽を聴いて涙を流したり、物語を読んでその世界に惹き込まれたりといったのと同種の感情を、視覚芸術という切り口から見る人にアプローチできたらと思っている。(杉山)



poser
2010
紙粘土・FRP・台座

對木 裕里 TSUIKI Yuri

1987 神奈川県生まれ
2009 武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業

2007 koshiki art project / 鹿児島県
小平アートサイト / 東京都
2009 武蔵野美術大学卒業制作展 / 武蔵野美術大学
P&E / art court gallery 大阪
note / 室町アートコート 京都
芸術系大学作品展～ART UNIV.2009～ / 元立誠小学校 京都
2010 京都市立芸術大学作品展 / 京都市美術館
現在、京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻在学中

事物と関わることで自分自身の振る舞いは変化し、空間は刷新され続ける。
関係を発明し続けること、
多次元の世界を引っ張り出してリアリティを構築する。(對木)



クリの林とイルカの海
変奏曲—ししや—
2009
土、銅粉、鉄粉、顔料、
溶岩

山本 彩 YAMAMOTO Aya

1984 東京都生まれ
2008 京都市立芸術大学美術学部美術科彫刻専攻卒業

2005 大枝00 / 大枝土蔵 (京都)
大枝01 / 大枝土蔵 (京都)
2006 CX 展 / 海岸ギャラリー CASO (大阪)
2007 1 × 1 = ストーリー展 / 京都市立芸術大学小ギャラリー
2008 NOTE / 室町アートコート (京都)
個展『風景の庭』 / prinz (京都)
個展『憧憬・ドローイング』 / INAX ギャラリー (東京)
2009 NOTE / 室町アートコート (京都)
現在、京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻在学中

一死んだ後はどこへ行くのか、どのような視点、視界をもつのか—
そのように想像することは、さまざまな次元を想定することが可能で、土を使って造形しながら思考し、またそれがすぐに形に表れ可変しながら、焼いて残す形を制作しています。(山本)